山梨県韮崎市

坂井南（大原）遺跡

個人住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

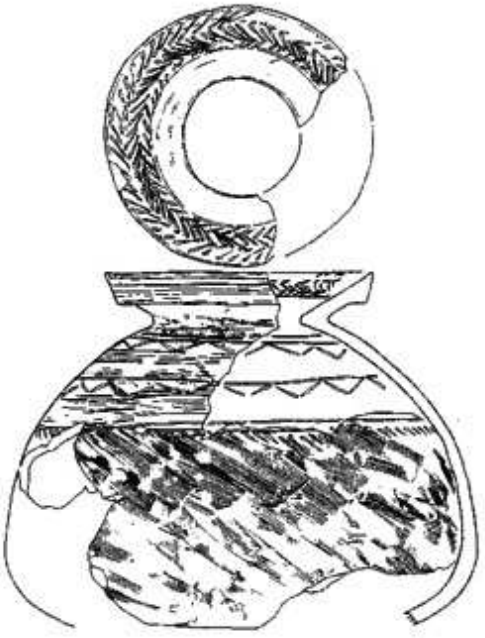
1995

韮崎市教育委員会

山梨県韮崎市

坂井南（大原）遺跡

個人住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書



1995

韮崎市教育委員会

序　文

韮崎市では、公共事業等の大規模開発にともない、数多くの遺跡が発掘調査され貴重な埋蔵文化財が発見されており、また民間開発や宅地造成による発掘調査も増加しています。この度発刊された本報告書は、そのような緊急調査が相次ぐなかで個人住宅建設にかかり平成６年度に発掘調査された坂井南（大原）遺跡の報告であります。

坂井南遺跡は、昭和57年度に民間会社の開発事業に伴いはじめて発掘調査されて以来、本年までに数次の調査が行われています。遺跡の時代は古墳時代前期で、今から１６００年前の集落跡が発見されています。竪穴住居址や掘立柱建物址といった居住区域の周辺に、方形周溝墓と呼ばれる墓の集まった墓域が形成されており、当時の村を知るうえで貴重な発見となっています。遺跡から出土した遺物は当時の生活を物語っています。今回調査されたところは、居住区周辺の墓域の一角にあたり、面積は狭いものの方形周溝墓が確認されました。

遺跡は文化遺産として、永く後世に伝えて行かなければならないものであり、報告書はそれらの文化財を記録にとどめたものです。本書が我々の先人の生活と歴史をときあかすための手助けになればと願っております。

末筆ですが、遺跡の発掘調査並びに報告書作成に伴い、多大なる御理解と御協力を賜った関係諸機関及び関係者の皆様方に深く感謝を申し上げます。

平成７年３月31日

韮崎市教育委員会

教育長　**秋　山　利　良**

例　言

1　本書は、個人住宅建設に伴う坂井南（大原）遺跡の発掘調査報告書である。

2　発掘調査は、文化庁・山梨県の補助金を受け、韮崎市教育委員会が実施した。なお、坂井南遺跡は民間開発にともない過去数次にわたり発掘調査されている大規模な遺跡であり、今回の調査もそれに隣接する土地での調査で「坂井南」を遺跡名としたが、報告書のタイトルにはこれまでの調査報告と区別するために「坂井南（大原）遺跡」と小字名を入れた。

3　本報告書の作成並びに整理作業は、韮崎市教育委員会社会教育課が行った。

4　凡例

①　遺溝の番号は発掘調査現場において付けたものである。　②　縮尺は各挿図ごとに示した。

③　写真図版中遺物に付けられた番号は、実測図の番号と対応する。

5　発掘調査及び報告書作成に当たり、多くの方々から御指導・御協力をいただいた。一々御芳名を上げることは割愛させていただくが、厚く御礼を申し上げる次第である。

6　発掘調査、整理によって出土並びに作成された遺物及び資料は、韮崎市教育委員会において保管している。

調査組織

1　調査主体　　韮崎市教育委員会

2　調査担当　　山下孝司（韮崎市教育委員会社会教育課）

　　調査員　　伊藤正彦

3　調査参加者

岡本嘉一・小沢治代・小沢千代子・小田切昭子・小沢久江・長島昌子・小田切綱江・乙黒きくゑ・五味ゆき子・小沢高恵・岡本保枝・小沢三千子・石原ひろみ・有賀京子・三井福江・青山みち枝・清水由美子・深沢真知子・小野初美

4　事務局　韮崎市教育委員会社会教育課

教育長　秋山利良、課長　福田国夫、課長補佐　深沢義文、係長　中嶋尚夫、野口文香

目　　次

序　　文
例　　言
目　　次
挿図目次
写真図版目次

Ⅰ　調査に至る経緯と概要 ---------- 1
Ⅱ　遺跡の立地と環境 ---------- 1
Ⅲ　調査の方法 ---------- 3
Ⅳ　遺構 ---------- 5
Ⅴ　遺物 ---------- 5
Ⅵ　まとめ ---------- 10
写真図版

挿図目次

第1図　坂井南（大原）遺跡①と周辺遺跡 ---------- 2
第2図　坂井南（大原）遺跡全体図 ---------- 4
第3図　1号周溝墓 ---------- 6
第4図　2号周溝墓 ---------- 7
第5図　1号周溝墓出土遺物 ---------- 9
第6図　2号周溝墓出土遺物 ---------- 9

写真図版目次

図版1　遺跡近景、排土作業
図版2　発掘風景、1号周溝墓遺物出土状態
図版3　測量風景、1号周溝墓
図版4　根切り溝、2号方形周溝墓
図版5　1号周溝墓出土遺物
図版6　1号周溝墓出土遺物
図版7　2号周溝墓出土遺物

I　調査に至る経緯と概要

平成５年12月窪田一彦氏より個人住宅建設にかかり、韮崎市藤井町北下条字大原２２４４－２番地の埋蔵文化財に関して本市教育委員会に紹介があった。住宅建設用地は平成３年に発掘調査された坂井南遺跡に隣接しており、遺構の存在が確実視されたので、試掘を行ったところ遺物が出土し暗褐色土の落ち込みが確認された。その結果をもとに本調査の実施を地権者に告げ、山梨県教育庁文化課と市教育委員会で協議し補助事業として発掘調査を行い、記録に留め永く後世に伝えることとした。

発掘調査は、平成６年４月中旬より開始し約一か月間おこなった。遺物等の整理作業を行い、報告書作成までの作業が完了したのは、平成６年３月であった。

II　遺跡の立地と環境

1　遺跡の立地

坂井南（大原）遺跡は山梨県韮崎市藤井町北下条字大原地内に所在した。

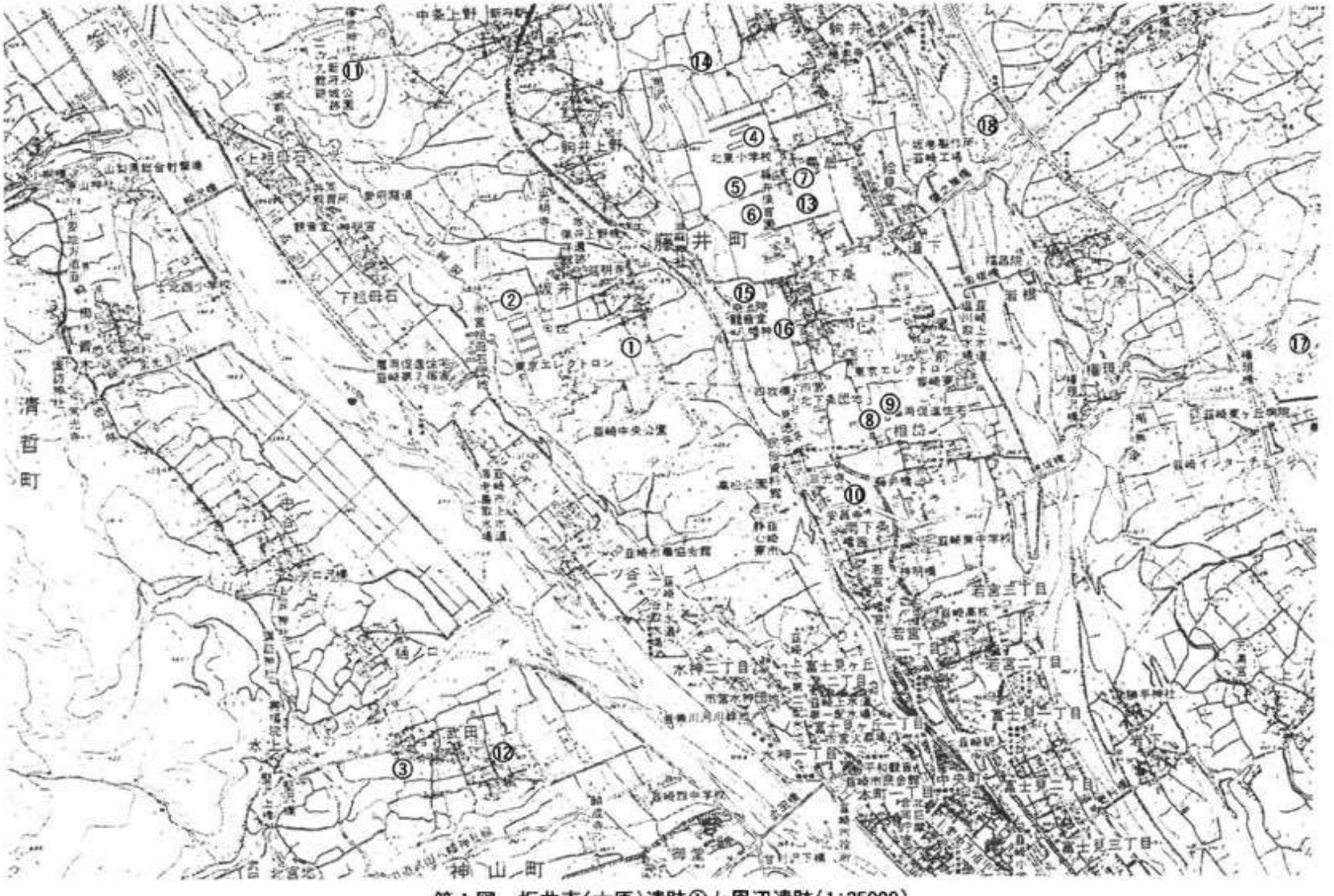
韮崎市は、山梨県の北西部に位置し、甲府盆地の北西端を占めている。市内を貫流する釜無川・塩川により、地形的にほぼ山地・台地・平地の三地域に分けられる。

台地である七里岩は、八ケ岳の山体崩壊にともなう韮崎岩屑流と東西を流れる塩川と富士川（釜無川）によって形成されている。西側を流れる富士川（釜無川）による台地の侵食は激しく、その侵食崖が長野県下蔦木から韮崎に至っており奇観を呈し七里岩の呼称のおこりとなっている。富士川（釜無川）は水量は多いが川幅がひろく普段は流れが緩やかであるが、一度集中豪雨が降ると南アルプス前山の山々から土石流が多量に流れこみ氾濫により大水害を起こすこと度々であった。台地東側は塩川の氾濫原で肥沃な平地をつくりだしており、中田町・藤井町を含む藤井平は穀倉地帯として古く「藤井五千石」と呼ばれていた。台地上には韮崎岩屑流によってつくりだされた小円頂丘と凹みが所々にあり湧水地が点在し、畑と果樹園が多い田園地帯となっている。

坂井南（大原）遺跡は七里岩台地上南部、坂井集落の南側、沢を挟んで西から東に向かって傾斜をもった半円形に張り出した小丘上の一角に位置する。標高約４４４ｍ。遺跡は比較的眺望がよくまわりは畑であるが、その周囲の西側から北側にかけては大原団地・東京エレクトロン株式会社、南側には韮崎中央公園があり、近年宅地化が進む地域となっている。

2　周辺の遺跡

番号	遺　跡　名	時　代　区　分	備　　考
①	坂井南(大原)	弥生・古墳	

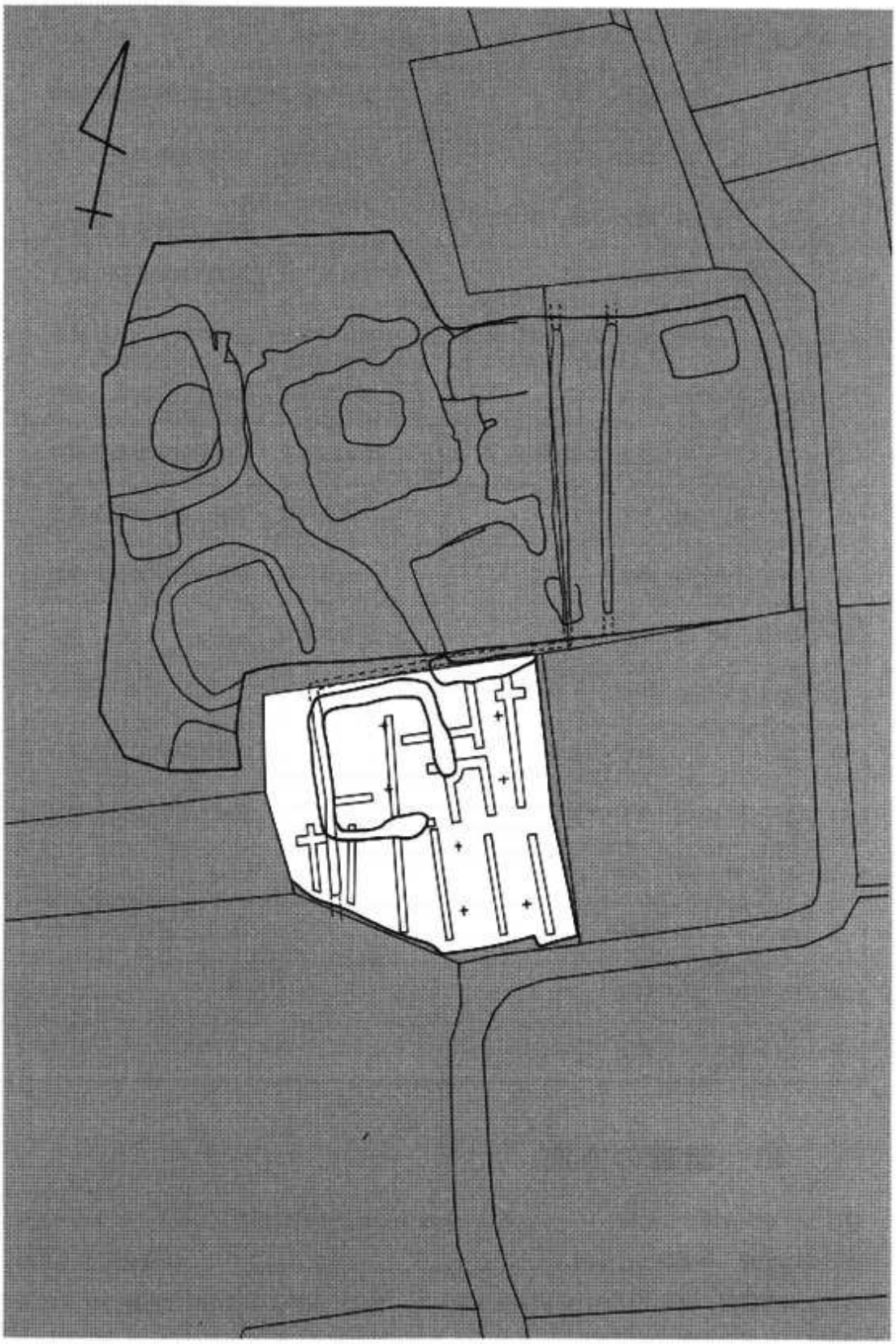


第１図　坂井南(大原)遺跡①と周辺遺跡(1:25000)

番号	遺跡名	時代区分	備考
②	坂井	縄文	志村滝蔵『坂井』 地方書院昭和40年
③	新田	縄文・平安	平成6年度 韮崎市遺跡調査会調査
④	宮ノ前	縄文・弥生・奈良・平安	平成元年～2年 韮崎市遺跡調査会調査
⑤	北後田	縄文・平安	平成元年度 韮崎市教育委員会調査
⑥	後田	縄文・弥生・古墳・奈良・平安	昭和63年度 韮崎市教育委員会調査
⑦	宮ノ前第3	奈良・平安	平成4年度 韮崎市遺跡調査会調査
⑧	北下条	弥生・奈良・平安	昭和57年度 韮崎市教育委員会調査
⑨	下横屋	弥生・平安	平成元年度 韮崎市教育委員会調査
⑩	山影	縄文	平成5年度 韮崎市遺跡調査会調査
⑪	新府城跡	中世	国指定史跡
⑫	武田信義館跡	中世	
⑬	堂の前	弥生・奈良・平安	昭和61年度 韮崎市教育委員会調査
⑭	宮ノ前第2	奈良・平安	平成2年度 韮崎市教育委員会調査
⑮	火雨塚	古墳	円墳
⑯	殿田	平安	
⑰	女夫石	縄文	
⑱	砦	縄文	

III 調査の方法

耕作土・表土を排除した後、ローム土層面を鋤簾等により遺構確認の後、掘り下げを行った。調査区域は桑畑～長芋畑へと改植されたらしく、著しく攪乱を受けており、随時遺構確認用補助的試掘溝を設定し掘り下げを行い調査を実施した。測量の基準として地形を考慮し任意に基本的に5m方眼を設定し杭打ちを行ったが、所によっては杭を移動した。



第２図　坂井南（大原）遺跡全体図（1/500）

Ⅳ　遺構

調査の結果発見された遺構は、方形周溝墓２基であった。ただし前項で述べたように当地は耕作による攪乱が著しく、また開墾した土地の山林からの根の侵入を防ぐための根切り溝が走り遺構の不鮮明な箇所が少なくなかった。

＜１号方形周溝墓＞　（第３図）

調査区域中央から北西側に位置する。大きさは、東西１１ｍ、南北１２ｍで、長方形の平面形態を呈し、南東側に幅３ｍ程のブリッジが存在する。周溝の幅は８０cm～１．６ｍで、確認面からの深さは20～70cmとなっている。西側溝は根切りの深く細長い溝によって攪乱を受けており、やや遺構が不鮮明となっている。

＜２号方形周溝墓＞　（第４図）

調査区域北端に位置する。ややずれるが東西方向に溝が発見された。北側は調査区域外であるが、平成３年度に発掘調査されて方形周溝墓が発見されており、当該地に周溝がのびていることが予想され、事実周溝が確認された。周溝は長さ8.5m、幅1.8m程で、西側で調査区域外方向へ曲がっており、平成３年に発掘された周溝墓へつながる。確認面からの深さは40cm前後であるが、北辺は１号方形周溝墓から続く根切りの深く細長い溝によって攪乱を受けている。東端も調査区域外で不明であるが、周溝がのび北側へ曲がっていくものと思われる。平成３年の調査成果と合わせると、本周溝墓は東西13m、南北14mの大きさで、東側周溝の中央部に幅約２ｍのブリッジが存在する形態となる。

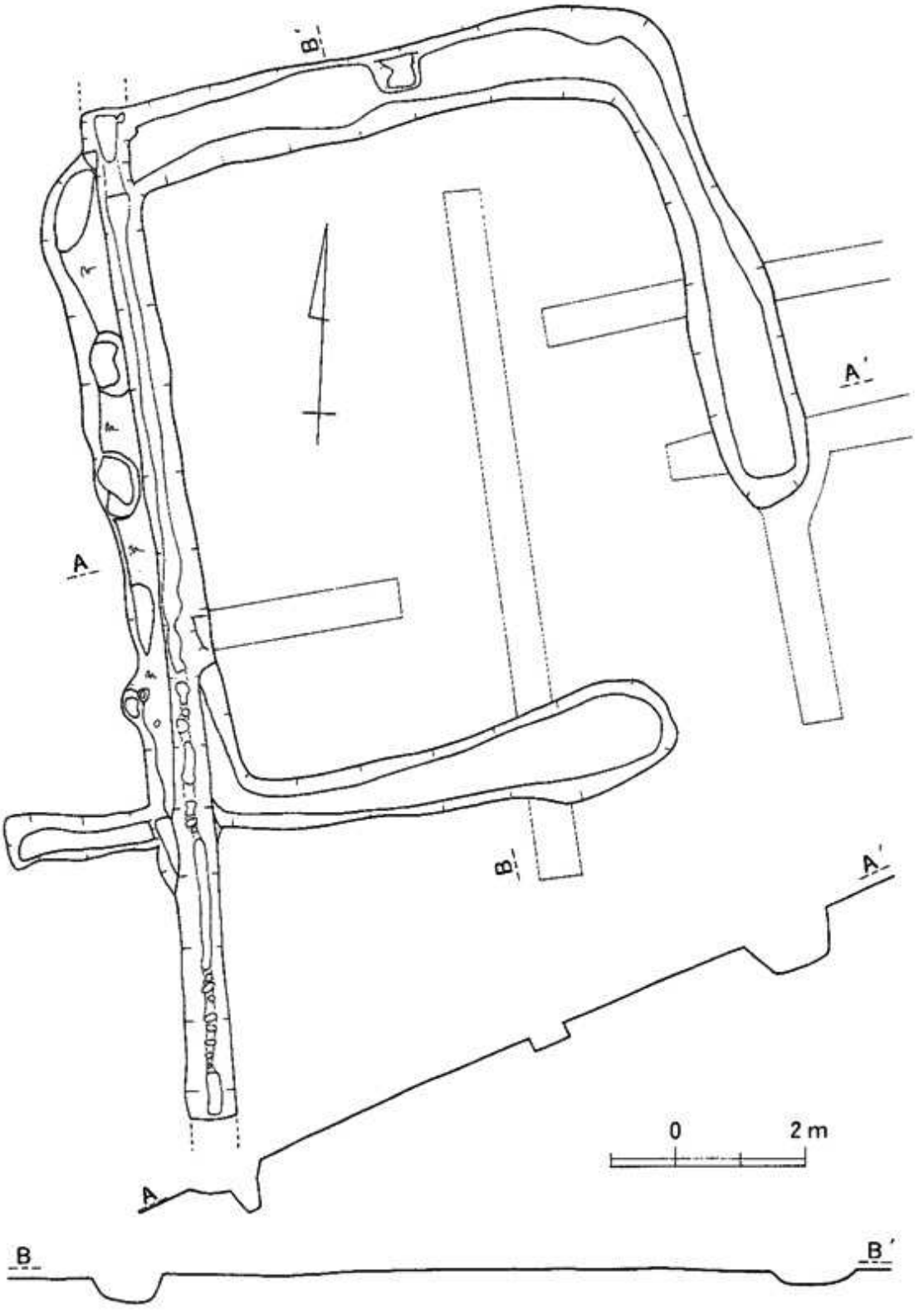
Ⅴ　遺物

遺物は、１号・２号周溝墓から出土した古墳時代のものが中心で、量的には僅かでありしかも破片となっている。ほかに縄文・弥生時代の土器片もあるが、流れ込みであろう。

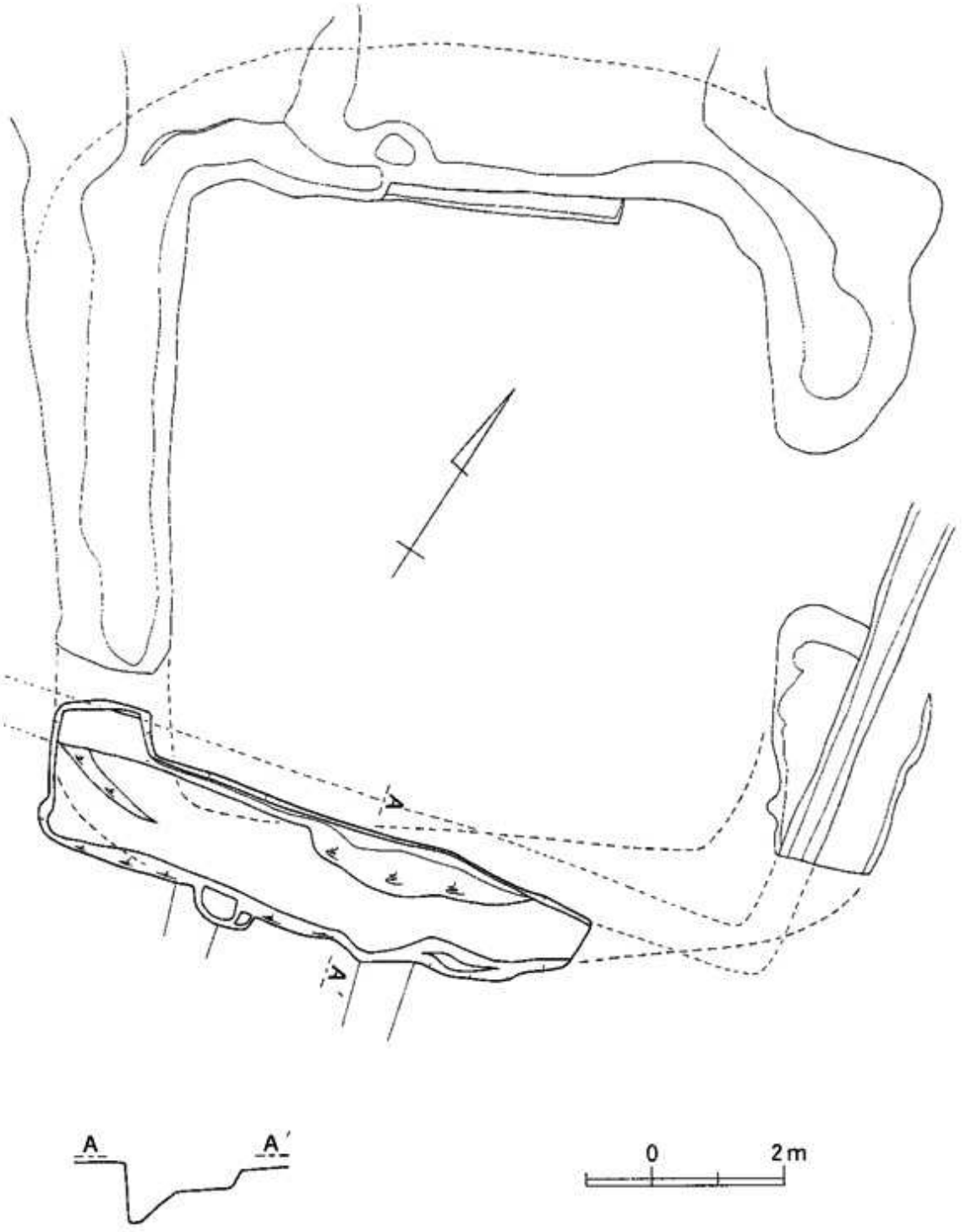
＜１号周溝墓出土遺物＞　（第５図）

出土遺物一覧　　（単位　cm）

番号	器種	法量等／胎土／色調 整形・特徴・その他
1	壺	口径 13.7　2/3欠損／金雲母、白・黒色粒子を含む／外面浅黄橙色、内面にぶい黄橙色
		内面、胴部は撫で、口縁部には綾杉文が施される。 外面は刷毛整形され、口縁部には擬凹線文が施される。肩部には上より順に櫛描直線文と鋸歯文が２段施され３段目の櫛描直線文の下には列点文がめぐる。
2	壺	頸部破片／金雲母、赤・白・黒色粒子を含む／浅黄橙色
		内・外面ともに刷毛目痕あり。 外面肩部には円形貼付文が施される。
3	甕	口径16.6　口縁部破片/金雲母、赤・白・黒色粒子を含む/外面にぶい黄橙色、内面・灰黄褐色
		口唇部に刻み目がめぐる。



第3図　1号周溝墓(1/100)



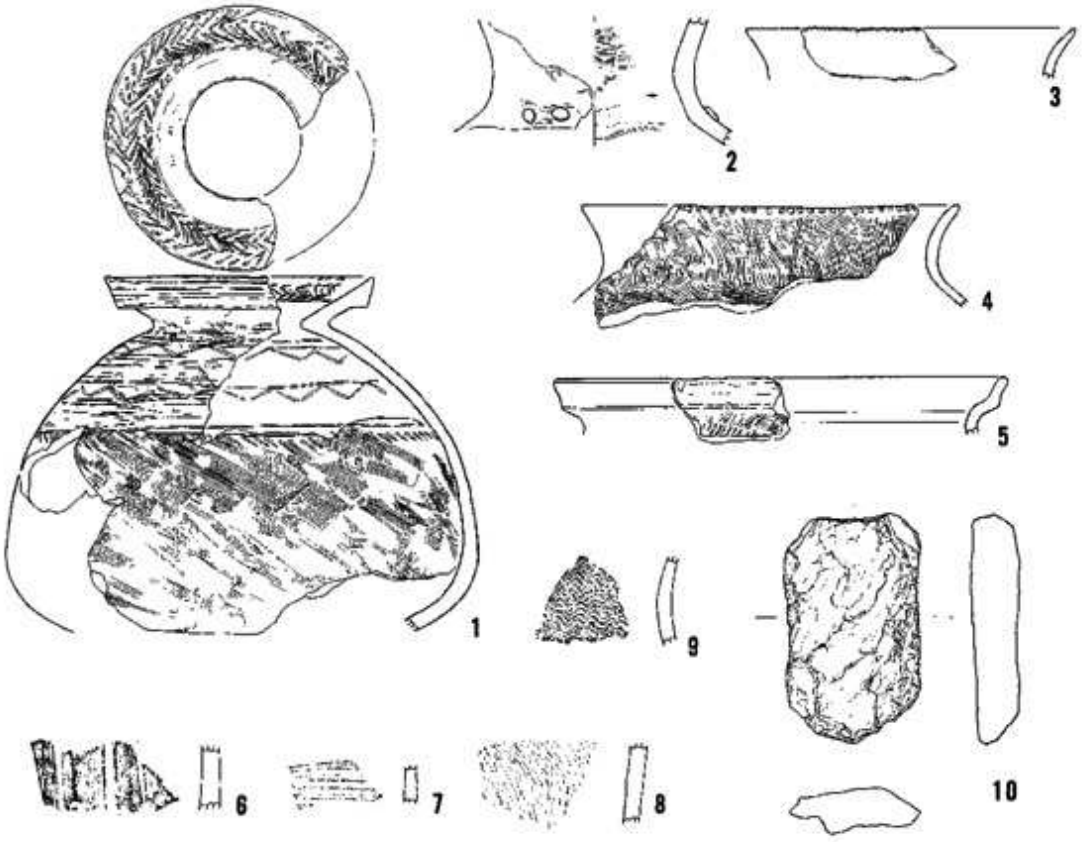
第4図　2号周溝墓(1/100)

番号	器種	法量等／胎土／色調 整形・特徴・その他
4	甕	口径19.0　口縁部破片/金雲母、白・黒色粒子を含む/にぶい黄橙色、外面はすすけている 内面は撫で、外面は刷毛整形。口唇部は刻み目がめぐる。
5	甕	口径23.0　口縁部破片／粗めの砂粒を多く含む／浅黄橙色 S字状口縁部横撫で、肩部には斜位の刷毛目痕あり。
6	縄文土器 深　鉢	破片／金雲母、砂粒を含む／にぶい黄橙色一部黒変 半載竹管による縦沈線文が施される。
7	甕	破片／金雲母、白・黒色粒子を含む／にぶい黄橙色 内面は撫で、外面は条痕。
8	甕	破片／粗めの砂粒を多く含む／外面にぶい橙色、内面黒褐色 内面は撫で、外面は条痕。
9	弥生土器 甕	破片／細かい砂粒を含む／外面にぶい褐色、内面橙色 外面には櫛描波状文が施されている。
10	石　器	長さ約11.5　幅約6.7　厚さ約2.0 石材　縞状黒雲母片麻岩様ホルンヘルス

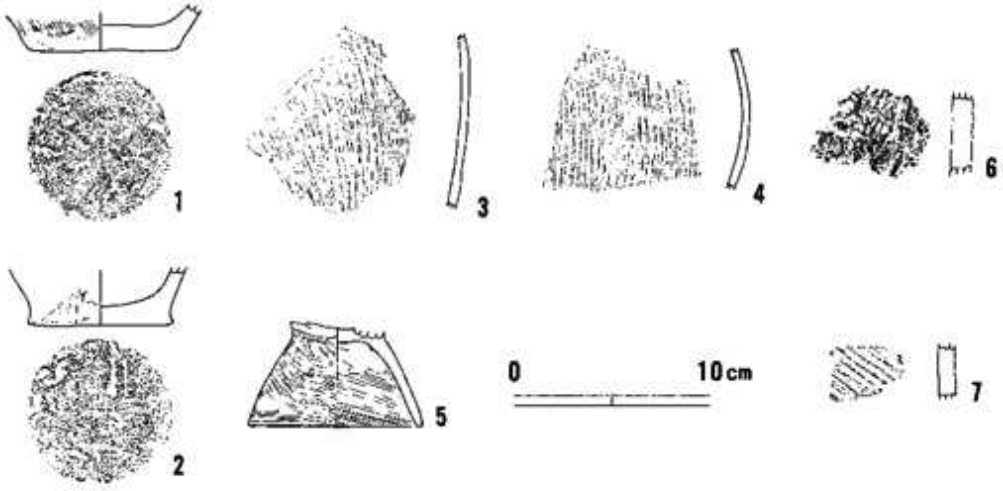
〈2号周溝墓出土遺物〉　（第6図）

出土遺物一覧　（単位　cm）

番号	器種	法量等／胎土／色調 整形・特徴・その他
1	壺	底径5.0　底部のみ／砂粒を含む／にぶい黄橙色 内面撫で、外面刷毛目。
2	甕	底径6.0　底部のみ／細かい金雲母、白・黒粒子を含む／にぶい黄橙色 内面撫で、外面刷毛整形のち撫で。
3	甕	破片／金雲母、白・黒色粒子を含む／にぶい黄橙色 内面撫で、外面刷毛整形。
4	甕	破片／金雲母、白・黒色粒子を含む／外面黒褐色、内面にぶい黄橙色 内面撫で、外面刷毛整形。
5	台付甕	底径8.8　脚台部のみ／金雲母、赤・白・黒色粒子を含む／にぶい黄橙色 内・外面共に刷毛目痕あり。



第５図　１号周溝墓出土遺物(1/4)



第６図　２号周溝墓出土遺物(1/4)

番号	器種	法量等／胎土／色調
		整形・特徴・その他
6	縄文土器 深鉢	破片／粗い砂粒を含む／外面にぶい橙色、内面橙色
		列点状刺突文が施される。
7	甕	破片／白・黒色粒子を含む／外面にぶい黄橙色、内面浅黄橙色
		内面撫で、外面条痕。

Ⅵ まとめ

今回は２５０㎡と狭い調査範囲であったが、前章まで見て来たように古墳時代の方形周溝墓が２基発見された。１基は、根切り溝によって切られてはいるものの、周溝が方形にめぐりひとつの角にブリッジをもつ形態のもの。別の１基は、角にではなく方形区画の一辺中央あたりにブリッジをもつ形態のその南側の周溝部分のみが確認された。

これら遺構から出土した遺物は少なく、古墳時代の焼き物のほか、流れ込みと思われる縄文時代の土器片や弥生時代の土器片、条痕文の土器片がみられた。１号周溝墓からは石器が出土している。出土した土器のなかで１号周溝墓の壷は、パレススタイルと呼ばれる特徴的なもので、濃尾平野系土器とされ、Ｓ字状口縁台付甕の口縁部下段に押し引き状の刺突文をめぐらす形態のＡ類とともに波及し定着するとされている。

方形周溝墓や特徴的な遺物の発見は古墳時代の社会を知るうえで重要な発見であった。

おわりに

坂井南(大原)遺跡から発見された遺構と遺物は古墳時代の歴史を解明するうえで重要なものであるが、本報告は限られた作業のなかでなされたもので、遺構と図面上に復元可能な遺物を抽出し呈示したにすぎない。遺構・遺物の詳細な検討等がなされず不十分な点は否めないが、本書が今後の調査・研究に資することができれば望外の喜びである。

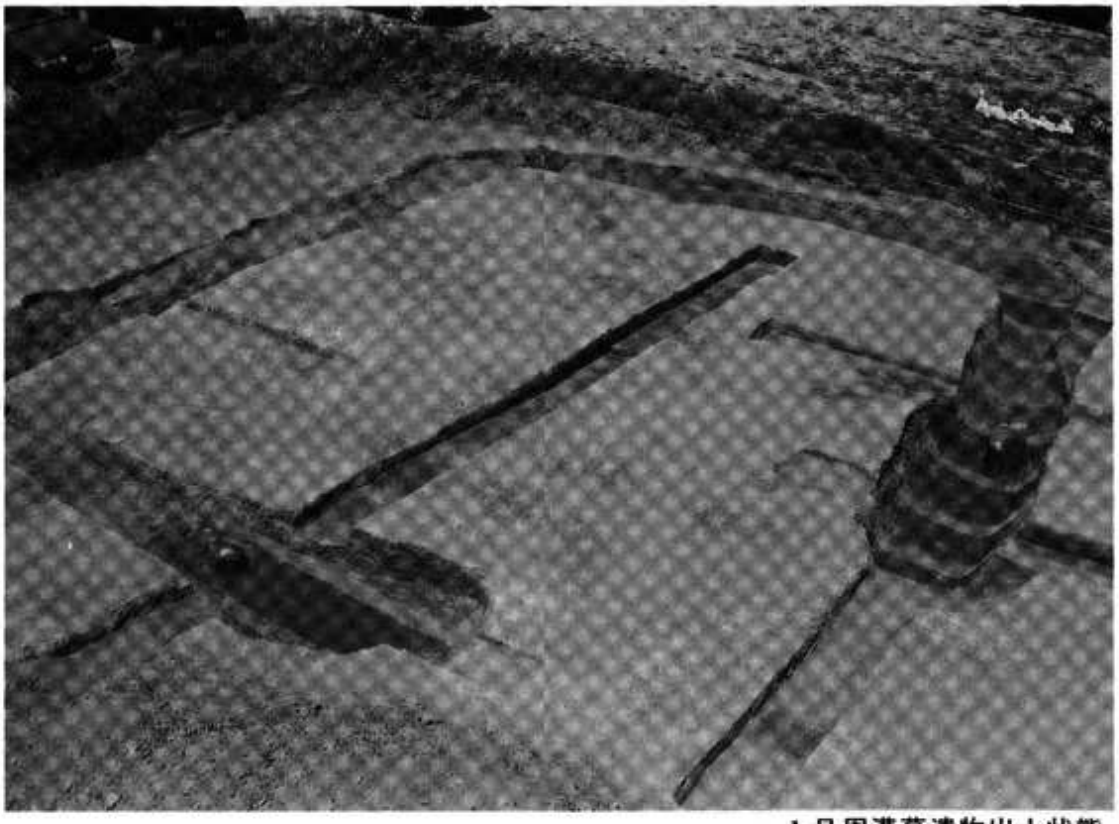
なお、本遺跡の発掘調査に際しては地権者の窪田氏をはじめ、東京エレクトロン株式会社の御理解と御協力を戴き、円滑に終了することができた。厚くお礼を申し上げる次第である。

写　真　図　版

遺跡近景

排土作業

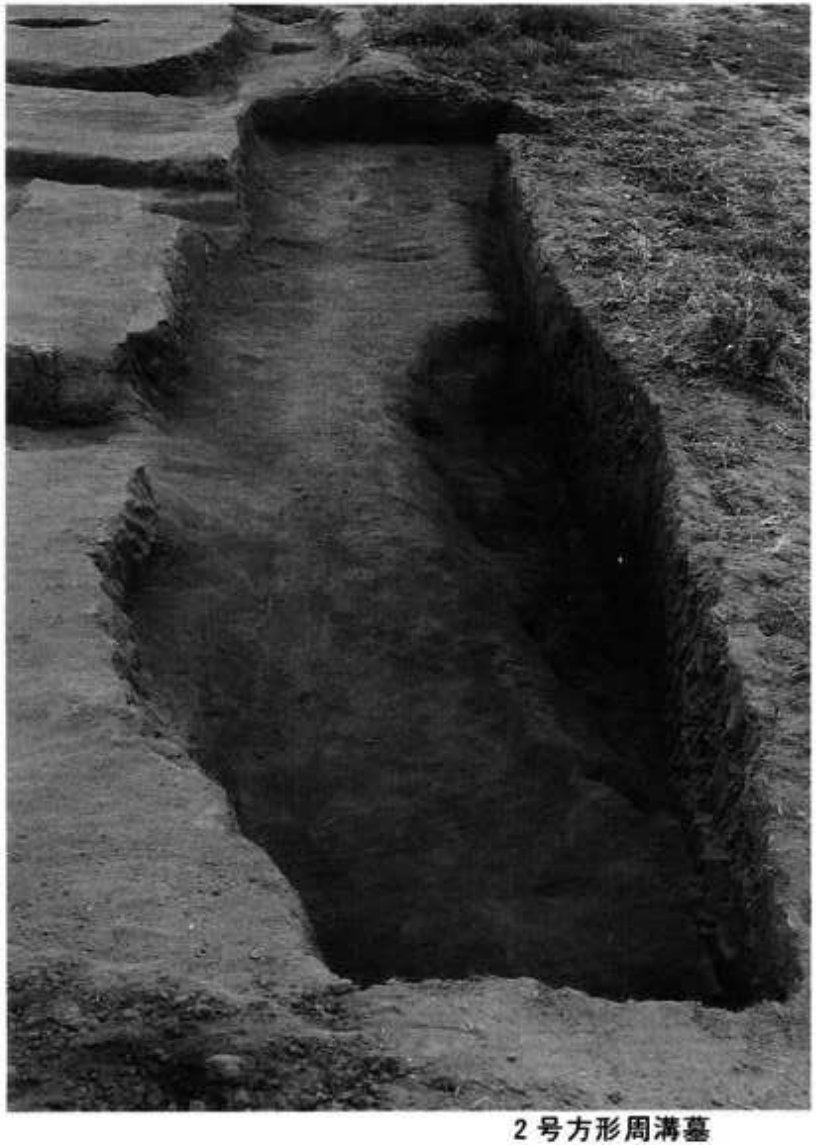
発掘風景



1号周溝墓遺物出土状態

測量風景

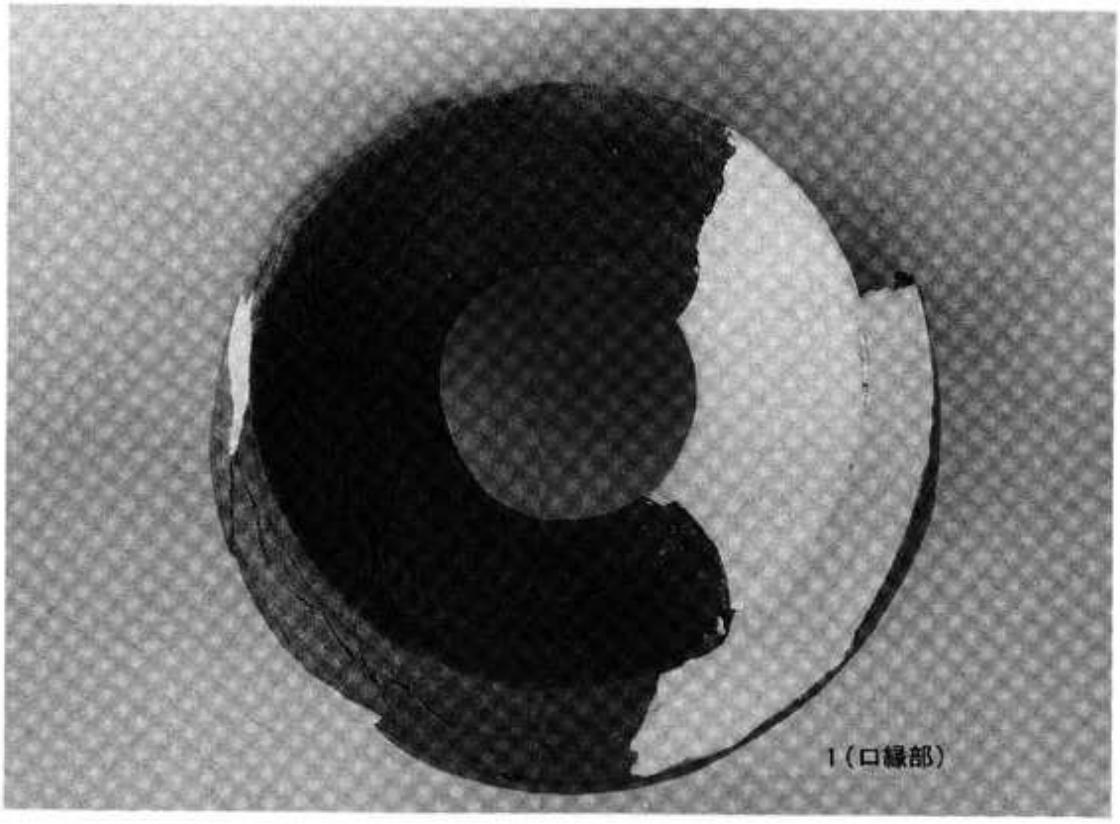
1号周溝墓



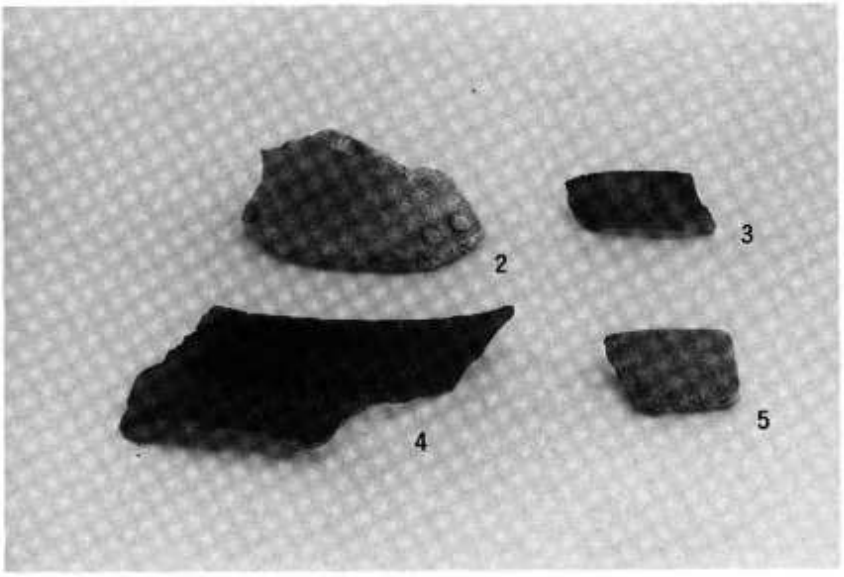
2号方形周溝墓

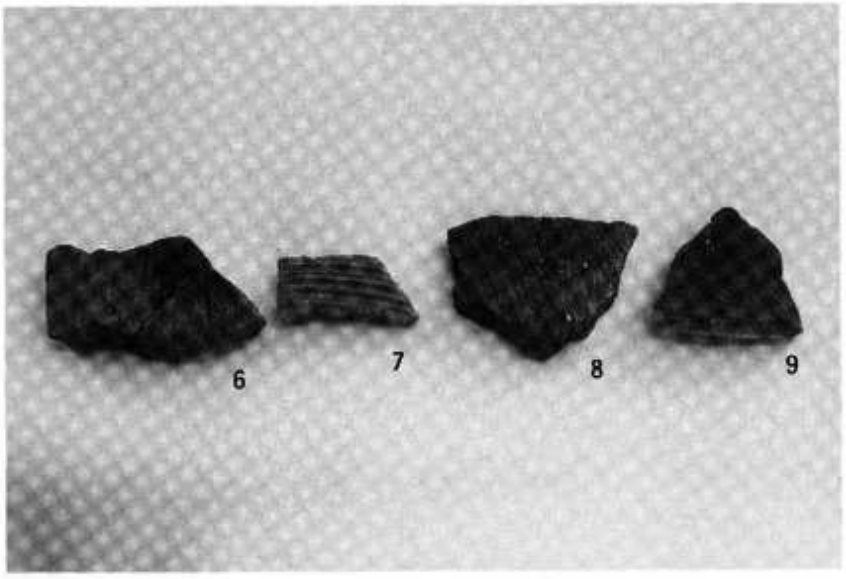
根切り溝

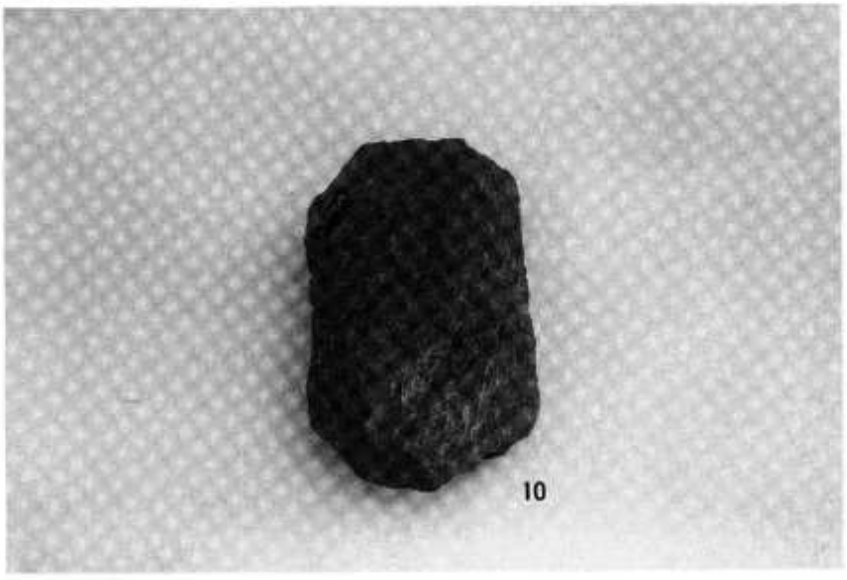
図版4



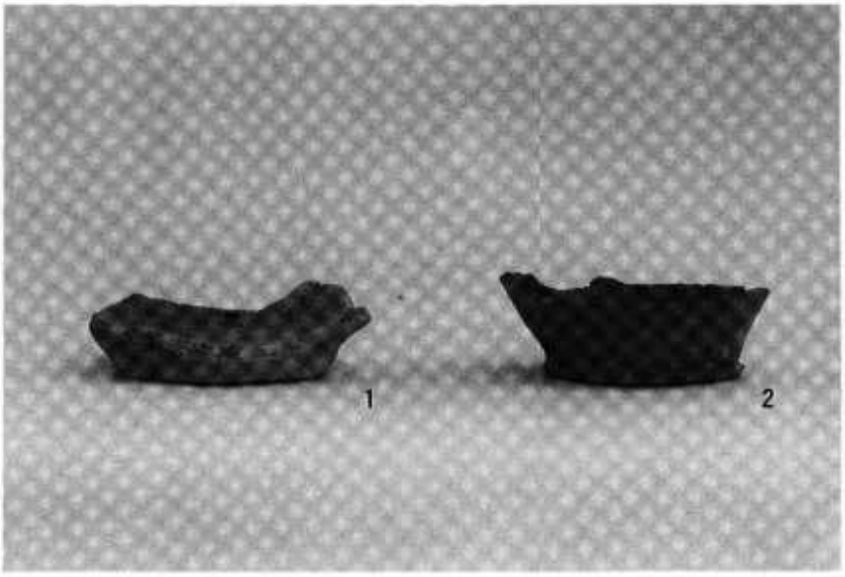
1号周溝墓出土遺物

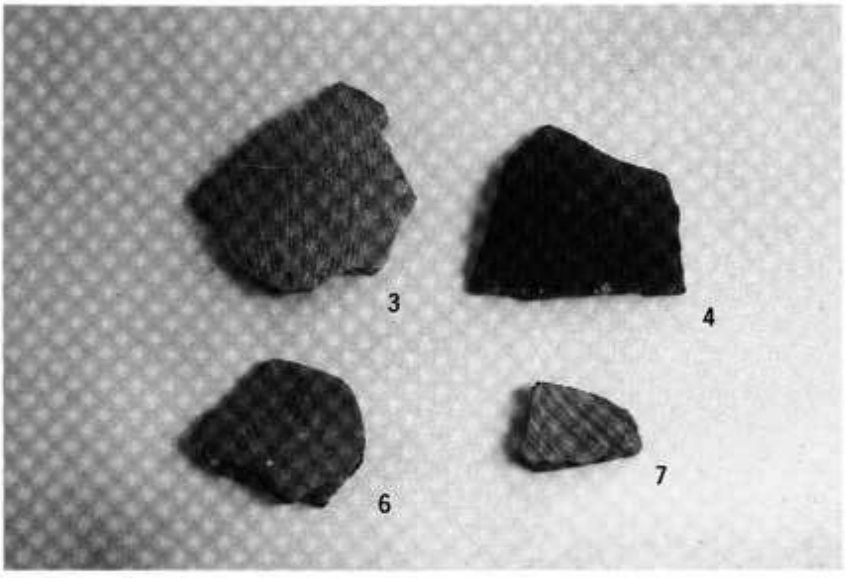


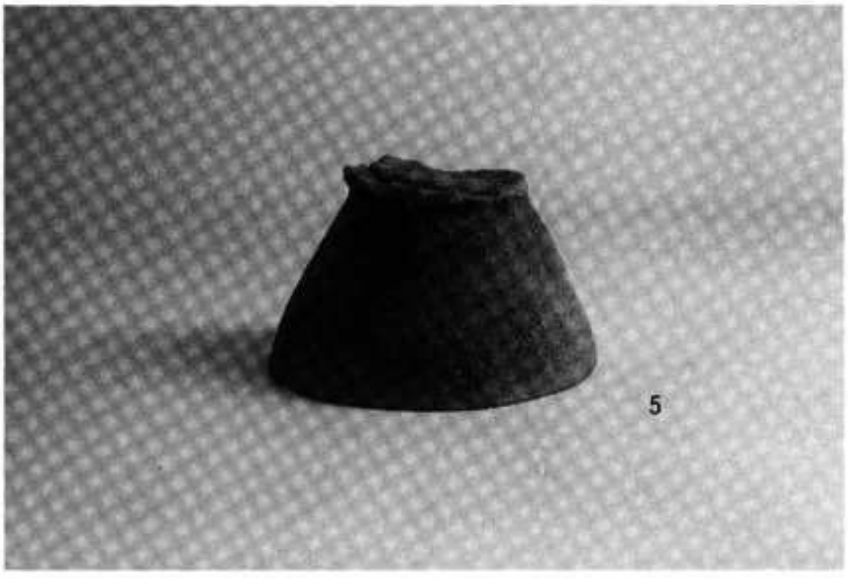




1号周溝墓出土遺物







2号周溝墓出土遺物

坂井南（大原）遺跡

1995年　3月17日印刷
1995年　3月31日発行

発　行　韮崎市教育委員会
〒407　山梨県韮崎市水神一丁目3番1号
TEL　0551－22－1111（代）

印　刷　有限会社 タクト/印刷・デザイン